

12種類の野鳥との出会い！

●春日部麗しの杜・野鳥観察会！

昨2日午後2時30分から、「春日部麗しの杜」(春日部市立川久保公園)と隣接する古利根川にて野鳥観察会を開催しました。埼玉県生態系保護協会春日部支部(三好あき子支部長)のお二人にご案内いただき、春日部地区浦高会の会員8名とお子さん1名で9種類の野鳥を見ることができました。

* *

杜のエントランス脇には竹藪があり、三好さんから「鳥の鳴き声がするでしょう」と声がかかりました。耳を澄ますと「チチ、チチ…」というような声が聞こえてきます。早速、三好さんがスコopを構えました【写真①】。

ニレの木の梢にメジロやスズメたちが群がっています。遠くからは枯れ木のアキニレも、近づくるとたくさんの枯れた実が付いています【写真②】。



この実を啄みに小鳥たちが訪れていたのです。普段は枯れ木としか見ていなかった木も小鳥たちにとっては大切な命の源だったのですね。

アキニレの木の周囲にはたくさんの実が落ちていました【写真③】。

三好さんのお話では、植物もさまざまな鳥たちに実を食べてもらい、遠くに種子を運んでもらうためにさまざまな工夫をしているそうです。例えば、毒のある実を付けて一度に大量に食べられないようにしたり、アキニレのように秋は果肉のある実、冬は枯れた実を付けて、季節に応じて鳥たちに種子を運んでもらう木もあるそうです。自然の摂理って凄いですね。



古利根川に出ます。川面につがいのヒドリガモ【写真④】とコガモを見つけました。雄は綺麗です。

川辺の葦原に三好さんがモズ【写真⑤】を見つけてくれました。しっぽをよく振るのが特長だそうです。モズは小型の猛禽類で、枯れ木にトカゲやカエルを捕まえては枝先に掛けておく「はやにえ」の習性が特長です。我が家でも先日、庭木を手入れしていて少々グロテスクな「はやにえ」に遭遇しました。またモズは「百舌」と書くのですが、3月になると歌を歌い、秋には高啼きと言って季節の変わり目を高い声で告げるそうです。



葦の葉が微妙に揺れています。カラヒワ【写真⑥】が隠れているとのことですが、見えません。

河原にムクドリが飛来してききました。虫を食べているのでしょうか。風を切るようにハクセキレイが飛来します。



上空をカモメが飛んでいきます。セグロカモメ【写真⑦】だそうです。川面にも一羽のセグロカモメが魚でしょうか餌を啄んでいます。セグロカモメの背はグレー



です。川の水深が浅いようでダイサギが餌を探して川面を歩いています。川の真ん中ではカルガモが集団で眠っています。カワウも見えます。約45

分、野鳥観察を終えました【写真⑧】。

「春日部麗しの杜」に植栽した木々も3年を経過して根付き始めたようです【写真⑨】。



* *

■生態系保護協会春日部支部による『古利根川の自然ふれあい観察会』は毎月第4土曜日に開催されています。問い合わせは三好さん(048-763-7610)まで。